

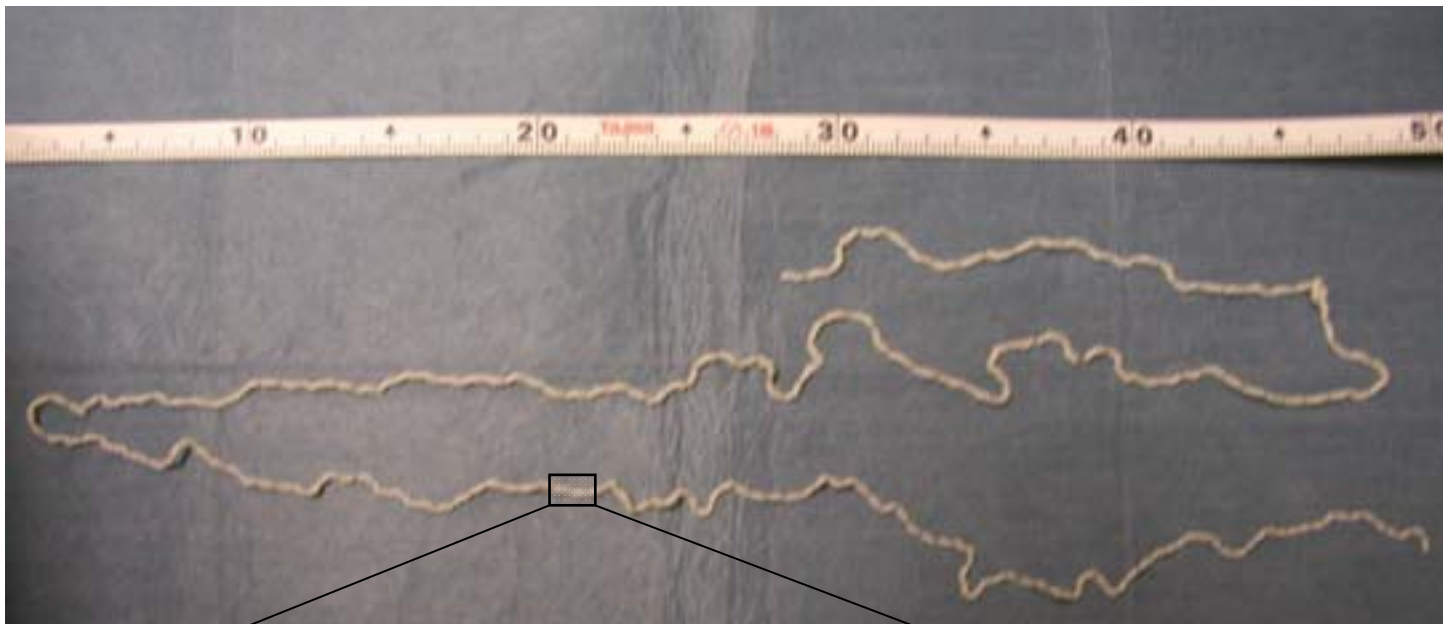
家人に発見された条虫症

50歳代の男性。妻とともに受診。

ある朝、患者(夫)につづいて妻がトイレに入ったところ、洗浄を忘れて残された夫の便に「小さな動く虫」を見つけたため受診される。虫は持参されず。問診で、20年以上にわたり週一回程度は焼肉屋通いをしていること、妻には内緒であったが過去(20年前と10年前ぐらい)にも2度「虫排泄」があったがそれぞれ受診せず放置していたことを聴取した。

検便で虫卵が検出できなかった。

有鉤条虫感染を疑う生活歴は無く、無鉤条虫症と考えプラジカンテル投与を行った。

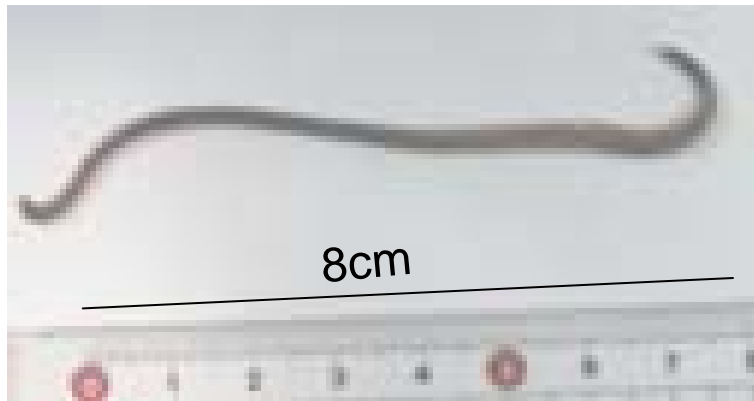


頭節は発見できず。
虫体はいくつにも分断され
ていたため、つなぎ合わせ
るように配置すると
約1m30cmであった。

追記

家人に発見された便器内の虫

4歳女兒。ひとりでトイレにて排便をし、母親が洗浄に行ったところ、便器内に「虫」を発見。「娘の便に虫がいた」と、娘とともに「虫」を持参して来院された。



ミミズ(おそらくシマミミズの仲間であろう)であった。
地階トイレであった。外部より経配管路で侵入したと思われる。